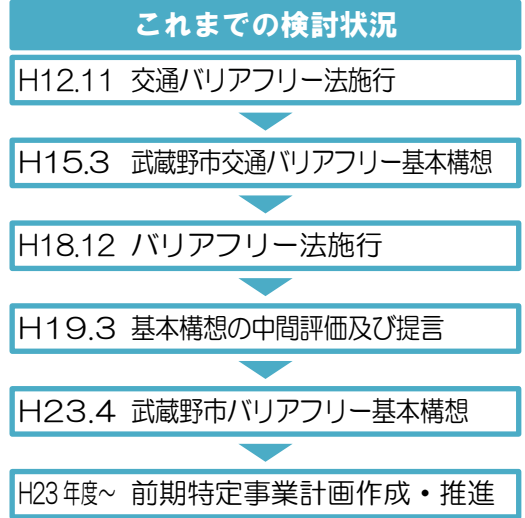


# 武蔵野市バリアフリー基本構想の中間評価 概要版

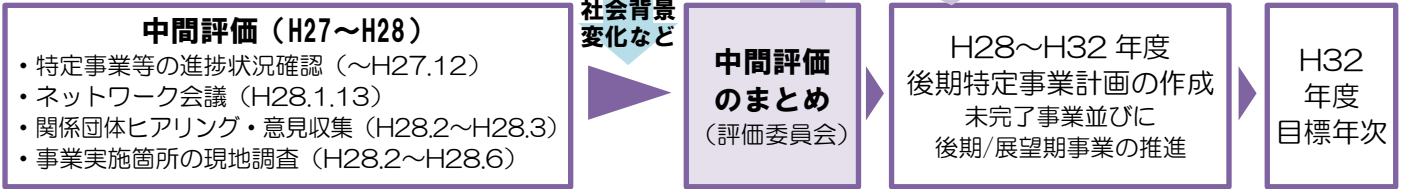
平成 28 年 9 月 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会

## 1 基本構想の概要と中間評価の目的

### 武蔵野市バリアフリー基本構想における重点整備地区



### ● 中間評価の目的・流れ



### 武蔵野市バリアフリーネットワーク会議

目的：市民及び事業者が協働してバリアフリー化を推進する (中間評価に際し設置、今後年 1 回程度実施)

### 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会

目的：基本構想等による事業の進捗状況を把握、評価を行う (学識経験者・市)

## 2 前期特定事業計画の進捗状況

上段：事業数 下段：着手率

|              | 公共交通<br>特定事業  | 道路<br>特定事業   | 都市公園<br>特定事業 | 建築物<br>特定事業   | 交通安全<br>特定事業  | 合計            |
|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 吉祥寺駅<br>周辺地区 | 65 事業<br>88%  | 24 事業<br>92% | 9 事業<br>89%  | 89 事業<br>94%  | 8 事業<br>100%  | 195 事業<br>92% |
| 三鷹駅<br>周辺地区  | 33 事業<br>91%  | 19 事業<br>89% | 17 事業<br>53% | 109 事業<br>82% | 11 事業<br>100% | 189 事業<br>83% |
| 武蔵境駅<br>周辺地区 | 54 事業<br>87%  | 14 事業<br>79% | 5 事業<br>100% | 45 事業<br>78%  | 9 事業<br>100%  | 127 事業<br>84% |
| 合計           | 152 事業<br>88% | 57 事業<br>88% | 31 事業<br>71% | 243 事業<br>86% | 28 事業<br>100% | 511 事業<br>86% |

### 全事業の進捗内訳

完了：193 事業 (38%)  
 実施中：249 事業 (49%)  
 検討中：28 事業 (5%)  
 未着手：41 事業 (8%)

### 未着手の主な理由

- ・予算不足
- ・具体候補地無し
- ・必要性を再検討
- ・実施時期ずれ 等

※各事業の進捗状況を「完了・実施中・検討中・未着手」に整理し、全事業数のうち「完了・実施中」の事業割合を着手率とした。



吉祥寺駅エレベーター整備



武蔵野市役所思いやり駐車施設



武蔵境駅北口駅前広場再整備

### 3 各主体による評価



ネットワーク会議の様子

#### ● 武蔵野市バリアフリーネットワーク会議

第1回 実施日：平成28年1月13日（水） 出席者：稲垣会長ほか19名

#### ● 関係団体ヒアリング・意見票による利用者意見の収集

| 団体名                   | 実施日           | 人数     |
|-----------------------|---------------|--------|
| ①武蔵野市老人クラブ連合会         | 平成28年2月9日（火）  | 人数：30名 |
| ②子どももおとなも楽しむ生活プロジェクト  | 平成28年2月22日（月） | 人数：7名  |
| ③武蔵野市身体障害者協会（視覚障害者）   | 平成28年2月27日（土） | 人数：10名 |
| ④武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会 | 平成28年3月14日（月） | 人数：11名 |

#### ● 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会・現地調査の実施

| 回   | 実施日           | 意見交換の対象地（現地調査）  | 出席者        |
|-----|---------------|-----------------|------------|
| 第1回 | 平成28年2月15日（月） | 吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅周辺 | 佐藤委員長ほか4名  |
| 第2回 | 平成28年4月13日（水） | 武蔵境駅周辺          | 佐藤委員長ほか15名 |
| 第3回 | 平成28年6月6日（月）  | 吉祥寺駅・三鷹駅周辺      | 佐藤委員長ほか14名 |
| 第4回 | 平成28年7月22日（金） | —（中間評価のまとめについて） | 佐藤委員長ほか17名 |

※第2回・第3回・第4回はネットワーク会議委員と合同で現地調査・意見交換等を実施

### 4 中間評価のまとめ

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| 評価すべき点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・86%と高い着手率</li> <li>・情報面や心のバリアフリーに関する独自の工夫</li> <li>・吉祥寺駅や武蔵境駅の大規模改修や3駅周辺整備、ノンステップバスの導入、歩道のバリアフリー化、音響式信号機の導入等に対し、バリアフリー化の成果が実感できる</li> </ul> |  |
| 今後の課題（全体） | <ul style="list-style-type: none"> <li>①ハード整備の効果を持続できる運用面・維持管理面における取組の必要性</li> <li>②整備段階からの施設利用者参加の仕組みづくりの必要性</li> <li>③事業者間の連携の必要性</li> </ul>                                      |  |
| 特定事業別課題   | 公共交通  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターの利用集中や設置場所のわかりやすさの改善</li> <li>・バス停留所の上屋・ベンチ設置に向けた継続検討</li> <li>・バス車内混雑時の車いすやベビーカー対応</li> </ul> |
|           | 道路  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道上での自転車利用への対策</li> <li>・視覚障害者誘導用ブロックの更新・規格統一・コントラストの確保</li> <li>・維持管理の中での歩行空間の質の向上</li> </ul>       |
|           | 都市公園  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの利用時間制限に関する運用上の対応</li> <li>・井の頭公園出入口のバリアフリー化の継続検討</li> </ul>                                      |
|           | 建築物   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターやトイレの利用集中への対応、手話などの人的対応</li> <li>・授乳室の設置や適切な運用</li> </ul>                                      |
|           | 交通安全  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響式信号機の夜間運用や携帯端末との連携、広幅員道路での青信号時間確保</li> </ul>   |

### 5 後期特定事業計画作成にあたっての留意点

|                  |  |
|------------------|--|
| 社会背景の変化          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法（H28.4 施行）を踏まえた心のバリアフリーの推進</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を想定した、受入体制の強化</li> <li>・多様な外国人の来訪を想定した適切な案内サインの整備や、ICTを活用した情報のバリアフリーの充実</li> </ul> |
| 前期計画における未完了事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施中事業の着実な事業推進、検討中事業の具体化に向けた検討</li> <li>・事業者判断で実施しないと判断している事業の状況確認・調整</li> </ul>  |
| 後期・展望期事業の具体的な検討  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想時に位置づけた事業について、実現可能性を含めた検討</li> <li>・検討経緯を踏まえ、可能な限りより具体的な事業内容を特定事業計画に記載</li> </ul>  |
| 基本構想の推進とスパイラルアップ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーネットワーク会議を活用した意見交換の継続</li> <li>・事業実施後の事後評価、スパイラルアップの仕組みの検討</li> </ul>   |